



9月24日(火)・25日(水)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属会派名（無会派は会派に属さない議員）



サイエンスドクター事業

サイエンスドクター事業や未来創生塾など、桐生ならではの教育施策を実施することが可能となっており、道路が狭いという点も、他市にはない当市の強みであると考えている。



近藤 芽衣 (そうぞう未来)

**子育て・教育部 門の強み**

**質問** 子育て世代に  
とって、暮らすま  
ちを選ぶひとつの基準と  
なる「子どもに対する支  
援」。

桐生で子どもを産み育  
てたいと思える環境をつ  
くるため、今ある仕組み  
をベースとして「子育て  
・教育」に関する事業  
の、より一層の充実を図  
る必要があると考えるが、  
まずは多くの市民にその  
クオリティの高さを知っ

ていただきたい。他市と  
比較して、強みや優れた  
点をどこだと考えている  
か。

**答弁** 子育て支援策で  
は、子育て世代包  
括支援センターと子ども  
家庭総合支援拠点の設置  
及び一体的運用を中核と  
した妊娠から子育てまで  
の切れ目ない支援の充実。  
また、放課後児童クラブ  
では、学校敷地内の余裕  
教室を活用しクラブ室を  
確保し、利用希望者を全  
て受入れており、待機児  
童は発生していない。  
よって、就学前の幼稚園、  
保育園などから小学生ま  
で（0歳から12歳まで）  
の待機児童がゼロであり、  
首都圏などからの転入  
者からも好評である。  
また、教育部門では、  
歴史や文化、自然豊か  
な桐生の街とともに歩  
んできた群馬大学理工  
学部があり、群馬大学  
との連携により、サイ  
エンスドクター事業や  
未来創生塾など、桐生  
ならではの教育施策を  
実施することが可能と  
なっている点も、他市  
にはない当市の強みで  
あると考えている。

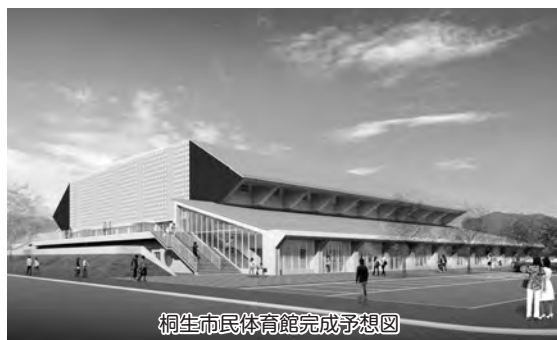


福島 賢一 (クラブ21)

**運動公園内、周辺  
の歩道新設と雨水  
対策について**

**質問** 体育館が完成す  
ることで、利用者  
も増え、また、県立西高  
校、南高校の統合を控え、  
公園内を通学路として利  
用する生徒も増加するが、  
安全確保のため、歩道新  
設並びに降雨出水時の園  
内及び周辺の雨水対策に  
ついては。

**答弁** 令和3年4月に、  
統廃合により新高  
校は桐生清桜高校へ移  
行し、場所は現在の西  
高校に設置されること  
が決まっている。新高  
校では2クラス増える  
ことになり、運動公園  
内を通過し新高校まで  
通学する生徒も増える  
ことが予想される。  
また、地元説明会に  
おいても、運動公園内  
の道路は一部通学路に  
なっており、道路が狭  
いという点で歩道設  
置の要望がある。歩行



桐生市民体育館完成予想図

者の安全確保の観点から  
も、運動公園内の歩道の  
設置については、体育館  
工事費全体の中で整備で  
きるよう検討していきたい。  
運動公園敷地内の雨水  
対策について、雨が降っ  
た際に現地確認したところ、  
道路脇の歩道部分に  
水溜まりができています。状  
況を確認した。道路の排  
水機能の不足によるもの  
が原因であり、その対処  
について関係各課と協議  
しているところである。  
球場前駅の前について  
は、早急に現地調査を実  
施し、今年度中に断面や  
排水ルート等の検討を実  
施したいと考えている。



石渡 宏明 (創志会)

### スポーツを通じた共生社会の実現

#### 質問

当市が生涯スポーツを推進する上での基本的な考えとその主な取り組み内容は。

#### 答弁

市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう「いつでもどこでもスポーツを」をスローガンとし障がいを持つ人を含む全市民にスポーツの機会を提供するため市民体育館、陸上競技場の整備に取り組んでいる。なお東京オリ



ボッチャをしている様子

#### 質問

これらの取り組みが一過性のもの

でなく、継続性、永続性が大事であると思うが、今後のあり方は。

#### 答弁

スポーツを通して共生社会の実現に取り組んでいくことは重要である。当市にはボッチャで全国好成績を収めた児童や、パラリンピック出場に向けて励む強化育成選手がおり、それらの姿に触発された市民レベルの参加者も増えている。また、群馬県内には知的障がいのある人たちの健康増進、自立と社会参加を図ることを目的に設立され、水泳等で

活動している特定非営利活動法人スペシャルオリ

ンピックス日本・群馬もあり、そうした活動に關し各種競技団体にも協力をいただき継続的な推進を今後も図ってまいりたい。



丹羽 孝志 (公明クラブ)

### 事業承継等の相談窓口

#### 質問

事業承継等をすすめるための相談窓口はどこにあるのか。

#### 答弁

桐生商工会議所の経営相談員や桐生市インキュベーションオフィスの企業支援コーディネーター、桐生信用金庫が設置する「Kiricos 桐生」にて相談を受けている。

また、県では、県内市町村等で組織する「事業



東京国際ナショナル・ギフト・ショー

を図っている。



正 男 (そうぞう未来)

### テレビ受信障害対策

#### 質問

概要と周知について。

#### 答弁

地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、空いた700MHz帯の周波数へ、携帯電話の周波数の移行を実施しており、テレビアンテナに

町1・2丁目、仲町1・2丁目、末広町、宮前町2丁目、永楽町、広沢町1丁目から6丁目、梅田町1丁目、相生町1・5丁目、新里町新川・山上・武井などが該当している。受信障害が発生した場合、700MHz利用推進協会の対策員が訪問し、テレビアンテナの工事を順次、実施する。また、対策に係る工事費用は、協会が全て負担し、費用が請求されることは一切ない。



テレビアンテナ

#### 質問

対象となる地域及び受信障害が生じた場合の対応等は。

#### 答弁

発生の際は、錦

◆その他の質問項目

◆ハイキングコースについて

◆電池の捨て方について



工藤英人 (創志会)

### ワンストップ相談システムの構築

**質問** 子育ての悩みを  
含めた総合相談窓  
口開設の動きについて近  
隣他市の状況は。

**答弁** 館林市では今秋  
から子ども総合相  
談窓口を設置し相  
談対応する動きがある。  
また、高崎市や渋川市で  
はすでに子育てを中心と  
したワンストップ相談窓  
口を設置している。

**質問** 児童・生徒の悩  
み相談や子育てで  
悩む保護者などが相談  
できる窓口を一本化と  
する当市独自のワンス  
トップ相談システムの  
構築の考えは。

**答弁** 子どもたち  
や保護者が相  
談しやすいシステムの  
構築は大切なことであ  
ると認識している。教  
育委員会としては、保  
健福祉会館内に設置さ  
れている「子育て世代  
包括支援センター」と

連携強化を深めるとも  
に、現在ある教育委員会  
内の相談窓口や支援体制  
の再整備について早急に  
研究したいと考えている。

### アクティブ・ラ ーニング

**質問** アクティブ・  
ラーニングの考え  
方について。

**答弁** 「課題の発見・  
解決に向けた主体  
的・協働的な学び」とい  
う意味で使われている。  
小中学校の新学習指導要  
領では「主体的・対話的  
で深い学び」という言葉  
でアクティブ・ラーニン  
グの視点を取り入れ、授  
業改善を進めている。



桐生市役所



渡辺恒 (日本共産党議員団)

### 保育士の確保と 処遇改善

**質問** 保育士の賃金に  
地域格差がある。  
また、全国どこでも生活  
するには、23万円〜25万  
円必要である。これを保  
障しなくてはならないの  
ではないか。国の処遇改  
善加算だけでは不十分で  
はないのか。自治体に  
よっては、独自に支援し  
ているところもある。市  
が独自に加算すべきと考  
えるかどうか。

**答弁** 水道山公園のツ  
ツジの剪定につい  
ては、年2回行っており  
6〜8月の間に弱剪定を、  
10月〜12月の間に強剪定  
を実施している。また、  
下草刈りは、年1回、8  
月〜9月の間に実施  
し、指定管理者が維  
持管理に努めている。  
指摘の箇所は、今  
年度まだ下草刈り作  
業を実施していない  
ため、下草などが例  
年より茂っている状  
況である。今後は、  
下草刈りの作業を早  
急に実施し、利用者  
の皆様が公園を快適  
に利用できるよう努  
めていく。



水道山公園

**答弁** 市単独の補助に  
ついては、近隣自  
治体と保育士の奪い合い  
になる懸念があり、国が  
十分な対策を取るべきと  
考えている。

### 水道山公園の整備

**質問** 植栽されている  
ツツジ群に草木が  
繁茂しているが、公園内  
の整備はどうなっている  
か。

**答弁** 水道山公園のツ  
ツジの剪定につい  
ては、年2回行っており  
6〜8月の間に弱剪定を、  
10月〜12月の間に強剪定  
を実施している。また、  
下草刈りは、年1回、8  
月〜9月の間に実施  
し、指定管理者が維  
持管理に努めている。  
指摘の箇所は、今  
年度まだ下草刈り作  
業を実施していない  
ため、下草などが例  
年より茂っている状  
況である。今後は、  
下草刈りの作業を早  
急に実施し、利用者  
の皆様が公園を快適  
に利用できるよう努  
めていく。



田島忠一 (そうぞう未来)

### 橋梁の整備

**質問** 桐生市橋梁長寿  
命化修繕計画にあ  
る建設後50年を超えた高  
齢化橋梁の中で架け替え  
が必要となる橋はあるか。

**答弁** 計画の対象とし  
た、橋長が15m以  
上の橋梁は、68橋あり、  
供用開始後50年を経過す  
る橋梁、9橋のうち4橋  
については、定期点検結  
果に基づき損傷部位の修  
繕工事を完了している。  
残りの5橋についても定



修繕工事を完了している広見橋

期点検結果に基づき、損  
傷部位を把握し、必要に  
応じて修繕を行う。なお、  
現在は老朽化等による損  
傷が著しく架け替えの必  
要性がある橋梁はない。

### 非常用発電機

**質問** 庁舎地下にある  
非常用発電機の試  
運転や点検をどのよう  
に行っているのか。

**答弁** 試運転について  
は、毎月25日前後  
の開庁日に実施している。  
また、点検については、  
保守点検委託業者が、庁  
舎への電気の供給を止め  
て、非常用発電機を起動  
させ電気を全庁へ供給で  
きるかの確認をする総合  
点検を毎年9月の閉  
庁日に実施している。  
また、全庁へ非常用  
発電機の電気の供給  
はしないが、非常用  
発電機が正常に作動  
するかを確認するた  
めの簡易点検を毎年  
3月の閉庁日に実施  
しており、万一に備  
え定期的に非常用発  
電機の保守及び作動  
点検を行っている。



園田 基博 (創志会)

### 政策検討会議

**質問** 政策検討会議の成果及び必要性は。

**答弁** 代表的なものを挙げる、キノピーランドの開設、中学生海外派遣事業創設、市民体育館等建設、きりゅう暮らし応援事業の内容見直しなどが、この会議で多角的な視点から検討され、建設的な意見交換によりブラッシュアップされた形で事業実施に



キノピーランド

至ったことは一定の成果であった。この会議によって幹部が部局横断的に検討を行い、施策の方向性について共通認識を持つことは類似事業の重複を防ぎ、部局間連携や効果的・効率的な事業を推進する上で大変有意義なものであった。

**質問** 政策検討会議の成果効果を踏まえ、どのように市長公約検討チームを進めていくのか。

**答弁** 9月末を目途に検討結果をまとめ、その後、これまで蓄積した政策検討会議のノウハウを生かし、(仮称)市長公約推進会議を開催し、検討結果をさらに大局的な見地でブラッシュアップした後に、行政案としてまとめ、市民に公表したい。その後、市民ニーズの動向や実現性等を勘案し、優先的に取り組むべき案件については令和2年度当初予算編成に合わせて具現化を検討したい。

### ○その他の質問項目

- ◆就労支援
- ◆移住支援
- ◆断らない相談



河原井 始 (クラブ21)

### 桐生厚生総合病院

**質問** ここ数年、医師不足のため、市民をはじめ多くの患者に迷惑をかけている。そこで、私たちができることは、医師が働きやすい環境をつくる必要があると考えている。具体的には、「入院中の患者や家族が病状を聞く時に、医師が時間外労働にならないように、勤務時間内に病院に行くこと」、「夜間や休日に受診するか迷った場合、#8000(こども医療でんわ相談)に電話するか、できるだけ日中に受診すること」、「かかりつけ医を持つこと」、「医師へ感謝の気持ちを伝えること」である。特に、かかりつけ医を持つことは、大切にあり、かかりつけ医を選ぶ目安としては、

①何でも相談できる

②ので近くにあること。③性別・年齢・疾患を問わない総合医であること。④専門外でもその分野の専門医を紹介してくれ、顔が広いこと。⑤自分よりも詳しい専門医を紹介してくれる患者離れがいいこと。⑥威張らず、人が好きな人間くさい医者であること。⑦信頼でき、自分と馬が合うこと。であると考えている。当局の見解は。

**答弁** 指摘のとおり、市民一人ひとりが色々な取り組みについて意識してもらえると医師の負担軽減や働きやすい環境づくりに繋がるものと考えている。

- ①何でも相談できる



桐生厚生総合病院



飯島 英規 (無会派)

### 桐生市シティブランドディング戦略

**質問** 桐生市シティブランドディング戦略に統一されたブランドメッセージがないが、中沢ビジョンが示す桐生オンラインワンブランド「1300年のシルクタウン桐生」をブランドメッセージとして受け入れたらどうか。

**答弁** ブランドメッセージは、単に市の特徴や多くの人が持っている共通のイメージにとどまらず、今後このようなまちを目指すという将来に向けた思いを込めるとともに、より多くの共感を得ていくことが重要と考えている。キャッチフレーズを作る場合には、中沢氏の提言も含め、広く市民の声を聞き、メッセージを通じて賛同者を増やすことはもとより、多くの人達が抱く桐生の印象をより良い

ものにしていけるものを作ることが望ましいと考えている。

### 重伝建地区の歩行者天国

**質問** 重伝建地区で月一度歩行者天国を実施するために解決すべき課題は何か。実現に向けて前進できないか。

**答弁** 交通規制を管轄する警察署等の関係機関との調整や沿線住民の理解が大前提となる。また、行政が主導的にイベントを実施するのではなく、公民連携推進の観点から市民団体等に行政が支援する考えのもと、まちなかの賑わい創出に向けて取り組みたい。



市内の重伝建地区



人見武男  
(創志会)

## フッ化物洗口

### 質問

歯の健康が体の健康につながっていると考えます。黒保根小学校では合併前からの取り組みとして、また桐生南小学校では平成30年度は歯科医師会が県の補助金で歯科衛生士を1人雇って実施し、今年度は学校歯科医の指導の下でフッ化物洗口を実施しているようですが、今後、市内小中学校で実施することについて当局の見解は。



フッ化物洗口の様子

で、各家庭において取り組んでいただけるよう、保護者への啓発を進めていきたい。また、今後、学校を会場としてフッ化物洗口を集団で実施するために、先生方がかわらずに実施できる条件の整備が必要であると考えている。学校規模や地域の実情も異なっており、一概には言えないが、安全に実施するための人的配置や、授業時間外での実施など、先生方の負担がなかつ持続可能な条件を整え、学校での集団実施も可能であると考えます。学校で実施するための、持続可能な条件を整えるためには、歯科医師会、各学校の学校歯科医の先生方や保護者地域の皆様の理解と協力が必要になるので、今後関係各所と協議・研究を重ねてまいりたい。

### 回答

小中学校において現在できることは、フッ化物の応用についての方法やその効果等について、各学校の保健だより等に掲載すること



新井達夫  
(そうぞう未来)

## 水沼定住促進住宅



水沼定住促進住宅

### 質問

本住宅は約2年かけて整備されたが、いまだに5戸が空いたままになっている。一刻も早くこれを解消し、児童生徒数を増やすことが地域活性化に繋がると思うが、これからの取り組みは。

### 回答

親子が多く集うイベント会場や桐生八木節まつりのジャンボパレードやくろほね夏まつり会場でのPRや、

授業時間外での実施など、先生方の負担がなかつ持続可能な条件を整え、学校での集団実施も可能であると考えます。学校で実施するための、持続可能な条件を整えるためには、歯科医師会、各学校の学校歯科医の先生方や保護者地域の皆様の理解と協力が必要になるので、今後関係各所と協議・研究を重ねてまいりたい。

### 質問

今年度中にサル檻を設置すると聞いていますが進捗状況等は。

### 回答

桐生市鳥獣被害防止対策協議会において、国の鳥獣被害防止総合交付金を活用して移動式サル檻を購入することに、県を通して国に要望を

## サル檻



SDGsロゴ

## 持続可能な開発目標



山之内肇  
(公明クラブ)

### 質問

持続可能な開発目標(SDGs)とは、全ての国連加盟国が目指す、「未来の姿」。

### 回答

SDGsの要素を反映した次期総合計画に基づき着実な推進を図り、当市の持続可

能な発展を目指すため、当市の実情に即したSDGsとの関わり方について、職員が理解をさらに深める必要がある。その上で、情報収集を行いながら、国や関係機関における取り組み状況も勘案し、市独自の周知・啓発活動などをさらに行う必要があるか検討して参りたい。

質問 当市の事業所がSDGs達成に取り組むことを後押しする施策の推進を強く願うが。

回答 SDGsの推進は、市内企業の成長にとって重要であると認識しており、ビジネス機会の創出や企業価値の向上などの効果も期待できることから、推進できるような情報発信に努め、環境整備について研究していきたい。

○その他の質問項目

- ◆SDGs達成に向けた教育分野における取り組み、ESDの推進
- ・桐生市を「ゴミのない日本一美しいまち」にする取り組みなど



佐藤 光好 (創志会)

### 青少年野外活動センター

**質問** 施設の沿革について。

**答弁** 当センターはキャンプ活動等の野外活動を通じて、青年の心身の健全な育成を図ることを目的に平成5年に開設され、平成18年に県から移管された。

**質問** 施設の老朽化の状況と改修工事内容について。

**答弁** 平成18年以降、老朽化が進んだ箇所について順次改修工事を行っている。主な工事はプレイホール天井改修、宿泊室畳替え、厨房内消火栓箱改修、泊棟の照明修繕等を行った。来年度以降も冷暖房機交換や浴槽の改修工事等を予定している。



野外活動センター



久保田 裕一 (そうぞう未来)

### 新里福祉センター

**質問** 6月に新里福祉センターの入浴施設が休止してから、多くの市民から「現状はどうなっているのか」、「いつ再開するのか」といった声を多数いただいている。入浴施設の再開を望む市民の声に真摯に耳を傾ける中で、施設の存続に向けた工事の早期実施を強く望むところであるが、当局の見解は。

**答弁** 入浴施設は、現しが立っておらず、その対応について検討をしている。入浴施設を再開するためには、配管の布設替えなど、大規模な工事が必要となり、多額の財源を確保することが求められる。今後は、経緯や地域住民のニーズなどを十分に踏まえながら、公共施設等総合管理

**質問** 6月に新里福祉センターの入浴施設が休止してからは、多くの市民から「現状はどうなっているのか」、「いつ再開するのか」といった声を多数いただいている。入浴施設の再開を望む市民の声に真摯に耳を傾ける中で、施設の存続に向けた工事の早期実施を強く望むところであるが、当局の見解は。



新里福祉センター

計画の方針に沿って検討していきたい。

### ヘルプマーク

**質問** ヘルプマークの申請方法等は、県内に居住して

**答弁** いて、障害等によりヘルプマークを提示することで援助や配慮を必要とする人であり、障害者手帳を所持していなくても交付対象となる。市内の配布場所は市役所福祉課、健康づくり課、新里・黒保根支所、桐生保健福祉事務所である。交付には申出が必要となり、窓口でお渡しする申出事由等確認票を記入して提出していただく。



関口 直久 (日本共産党議員団)

### 中小企業発展させるまちづくり

**質問** 循環型経済の確立に向け、当市で生産された商品を地産地消という形で、地域で活用されるためにどのように取り組んでいるのか。

**答弁** 市内で生産された製品、サービスについて、地域内で活用が進む仕組みとしてビジネスマッチングフェアを当市と商工会議所、桐生信用金庫等が共催で開催



ビジネスマッチングフェア

**質問** 佃橋付近の河川整備計画の早期策定と着手の予定は。

**答弁** 桐生土木事務所から、限られた予算の中では早期の整備は難しいと伺っている。しかしながら、県としても整備の必要性は認識しており、現在大型土のうで対応している箇所は今年度の非出水期に災害復旧工事として整備できるよう進めていると伺っている。

**質問** 市内で生産された商品を地産地消という形で、地域で活用されるためにどのように取り組んでいるのか。

**答弁** 市内で生産された製品、サービスについて、地域内で活用が進む仕組みとしてビジネスマッチングフェアを当市と商工会議所、桐生信用金庫等が共催で開催し、市内外企業への販路開拓を支援している。またホームページ内に「桐生市製造業ガイド」を掲載し、企業情報を発信することで市内外に自社の優れた技術や製品をPRし取引先開拓につなげ、さらに桐生の逸品発信事業や桐生の一押し商品認定事業を通じ市内の優れた商品をPRしている。市内で循環が行われ、お金が回り、小さいけどきらりと光るビジネスチャンスがある街桐生というものを目指していきたい。



司 公 代 歌  
(無党派)

### 鳥獣被害対策について

#### 質問

小規模農村整備事業の中で鳥獣被害から農地を守るための電気柵など設置補助事業の申請件数及び被害状況は。

#### 答弁

本事業は、平成28年度から実施されており、平成28年度が2件、平成29年度が2件、平成30年度が1件である。また、被害は、年々拡大しており、新里町では、北部の山間部から徐々に南下している状況である。

#### 質問

補助事業の採択要件に受益戸数が2戸以上とあるが、その経緯と柵設置後の補修は。

#### 答弁

本事業は、県の補助事業であり、地区設定の要件として個々の農地を囲うことは、被害が隣の農地へ拡散し、すり替えを招くこととなること



電気柵

#### 質問

イノシシによる堤防弱体化の対策は、どのようにしているのか。

#### 答弁

国土交通省渡良瀬川河川事務所に確認したところ、堤防の強度低下を招いているところを重点的に補修し、補強シートで保護する工事を行っていると同つて

## 平成30年度 決算を認定

平成30年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、市長による平成30年度決算総括、監査委員による審査報告の後、決算特別委員会(委員19人で構成)を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。なお、本会議における討論の概要は下記のとおりです。

### 賛成討論

Agree

平成30年度桐生市歳入歳出決算については「桐生市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、人口減少対策に効果を発揮する為、桐生市ならではの地方創生に向けた様々な施策が予算化された。

当局においては予算執行にあたり様々な創意工夫の基、適切な歳出抑制に努められ実質収支額が25億3822万5478円の黒字となり、前年度に比べて6億3502万3176円の増額となり、効率的な事業運営に努められたことを高く評価する。

また、健全化判断比率においては実質公債比率、将来負担比率とも年々改善されており、特に将来負担比率については起債残高の減少や土地開発公社の負債額等負担見込額がなくなり改善が進んだが、今後は公共施設の建設による財政負担が見込まれており、より一層の健全な財政運営に取り組んでいくべきと思う。

複合木材市場整備支援においては森林環境の整備や木材生産活動の活性化を図る為、高質材から低質材まで取り扱う複合木材市場の整備に対しての支援を実施するという事で、運営に十分注視して頂き今後の展開を楽しみにしている。

広域的な視点かつ、将来を見据えた地域の特徴に応じ街づくりにおいては、若い世代からの生活習慣病予防への取り組みを促進するための若年層を対象とした検診事業、自治会の防災活動を支援するための自主防災事業助成金は今後においても欠かせない事業と考える。

多様化する市民ニーズに応じていくため、当局一丸となり職員一人ひとり経営感覚と責任を持ち、これまで以上に事業の選択と集中を高め、限られた財源の中で効率的かつ効果的な事業運営に努めることを要望する。

### 反対討論

Opposition

地方交付税は毎年減少を続けている。平成30年度では97億9,800万円余りとなり、前年比2億9,900万円の減少である。地方独自の施策が実施できる予算が削減・縮小されることは、地方自治の本旨に反するものであり、国に対し

地方交付税の引上げを強く要望する努力を引き続き求める。

また、桐生市行政改革方針では10年間で71億円の財源不足が生じると財政推計シミュレーションで示している。この計画を進めれば進めるほど人口減少と市民負担増大につながるもので、この計画は改めるべきである。

子育ての問題では、学校給食費の無料化の実施、保育料の負担軽減、保育士の確保と処遇改善を進め、子育て中の父母を応援する施策に踏み出すべきである。

また、住みやすさの問題では、市内どこに住んでも住みやすいまちを作ることが重要と考える。今年の4月1日現在の高齢化率は35.23%で、桐生市は県内12市で1位である。だからこそ、高齢者の移動の自由を確保することが大切であり、おりひめバスの一層の充実やデマンドタクシー、さらにタクシー券の配布など早期に進める必要がある。